

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度											
事務事業名	IoTを活用した牡蠣養殖による東かがわ市水産業持続的発展事業		担当課名	戦略情報課								
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善								
■目的 世界で初めてハマチ養殖の事業化に成功した「ハマチ養殖発祥の地」安戸池で、データ連携を活用したスマート水産業「牡蠣養殖」の試験養殖を実施。獲得したノウハウを市内漁業者に共有することに加え、水産物の加工や販売を支援する。それらを通して、漁業者の所得向上、年齢のバランスのとれた漁業就業構造、そして環境負荷の軽減を達成し、より持続可能な水産業を目指す。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 スマート牡蠣養殖に取り組む漁業者の所得向上:5% 【達成値(R7実績値)】 スマート牡蠣養殖に取り組む漁業者の所得向上:3.19%		■具体的取組 事業性の確立に向け、養殖資材の増設に加え、2mm程度の稚貝から育てられる蓄養設備を整備した。ブランディング及びマーケティング支援を行うことで、生食用牡蠣として、直売又は卸売で販売できる体制が整った。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 <table><tr><td>○会計年度任用職員給料（報酬）等</td><td>2,518千円</td></tr><tr><td>○旅費</td><td>126千円</td></tr><tr><td>○委託料</td><td>16,248千円</td></tr><tr><td>○使用料及び賃借料</td><td>1千円</td></tr></table> ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ①スマート牡蠣養殖アプリの利用者数:15名 ②牡蠣成品の歩留率:67.5% ③スマート牡蠣養殖の展開エリアの拡大:6箇所	○会計年度任用職員給料（報酬）等	2,518千円	○旅費	126千円	○委託料	16,248千円	○使用料及び賃借料	1千円	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 牡蠣の生産面では、株式会社ソルトレイクひけたの社員及び引田漁業協同組合の職員が中心となり、デジタルを活用し、養殖技術を磨き上げることができた。増産にも対応でき牡蠣の品質面でも向上がみられた。また、販売面では、地域プロジェクトマネージャーが中心となり、マーケティング戦略を実行。増産に対応した販売・出荷体制についても整備し、生食用牡蠣の販売を軌道に乗せることができた。	■検証結果を受けての具体的対応 行政の委託での3か年度が経過し、一定の事業性が確立できたことから、行政の金銭的支援はいったん終了とする。 今後は、データ連携等で獲得したノウハウに、一般社団法人東かがわ地域経営機構によるマーケティングやブランディングに加え、民間を中心とした事業拡大により、地域産業として成り立つことを目指していく。 ■評価 終了
○会計年度任用職員給料（報酬）等	2,518千円											
○旅費	126千円											
○委託料	16,248千円											
○使用料及び賃借料	1千円											

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。